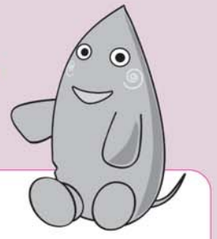
【募集】男女共同参画のイベントを一緒につくりませんか？

市民セミナーや講演会を一緒に企画運営したり、男女共同参画に関する情報誌の企画編集をしたりと、男女共同参画社会実現に向けて取り組んでいただけるボランティアを募集しています。みなさんと一緒にアイディアを出し合い、形にしていく醍醐味を味わえます。ぜひご応募ください。

問合せは、**電話番号046－260－5164、大和市国際・男女共同参画課　男女共同参画意識啓発企画運営委員募集担当**まで。

パートナーからの暴力、ひとりで悩まないでください。

・・・まず相談を！



市では、関係機関と連携を図りながら、ＤＶ被害者の方への支援を行っています。

◆大和市役所

- **生活援護課**（DV相談）
  月～金（祝日除く）　9:30～16:30
  ☎ 046-260-5638
- **市民相談課**
  （女性相談員による心配ごと相談）
  月～金（祝日除く）
  10:00～12:00、13:00～17:00
  ☎ 046-260-5104

◆大和警察署

- **生活安全課**
  月～金8:30～17:15
  ☎ 046-261-0110(代)
  ※緊急の場合は110番してください。

◆神奈川県配偶者暴力相談支援センター

- **かながわ男女共同参画センター**（かなテラス）
  月～金　9:00～21:00、
  土・日　9:00～17:00
  ☎ 0466-26-5550
  ☎ 0466-26-5551
  月～日　9:00～17:00
  ☎ 0466-27-9799
  ※（祝日除く）
- **多言語による相談窓口**
  月～土　10:00～17:00
  ☎ 050-1501-2803
  （英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語）
- **男性被害者相談窓口**
  月～金（祝日除く）　9:00～21:00
  ☎ 0570-033-103
- **DVに悩む男性のための相談窓口**
  月・木（祝日除く）　18:00～21:00
  ☎ 0570-783-744

大和市は自主財源を確保するため、「わくわく」に有料広告を掲載しています。

発行　大和市役所 国際・男女共同参画課　TEL 046-260-5164　FAX 046-263-2080
発行日 29年3月15日

MAR 2017　神奈川県大和市
Volume29

WAKU・・・・・・ わくわくWAKU

男女共同参画社会を目指す情報誌

P1～P2：男女共同参画市民フォーラム
P3：平成28年度事業報告
P4：DV防止相談窓口 企画委員募集

【事業報告】

平成28年度 人権を考える集い・男女共同参画フォーラム

（平成28年12月4日実施）

安藤優子さん講演会
「女性の社会参画　～報道の現場から～」

開館間もない、大和市文化創造拠点シリウスのメインホールにて、人権を考える集い・男女共同参画フォーラムを実施。ゲストにキャスターの安藤優子さんをお迎えして、講演会を開催しました。当日は、約700名の方にお集まりいただき、会場からの質問にもお答えいただきました。

●仕事での悔しい思い

安藤さんがお仕事をスタートした当時の報道現場には、今でいうセクハラやパワハラといったことがあったとのこと。ミニスカートを履いて取材に行った時には、「そんな恰好をして、それでも記者か!」と大物政治家に怒鳴られたこともあったようです。

また、無茶な取材を言いつけられることもあったそうですが、粘り強く結果を出されていきました。しかし、安藤さんが悔しく思ったことは、「おじさんは、若いお姉ちゃんが好きだから取材できたのだ」と言われ、女性を理由に評価されることでした。

さらに、当時女性記者はほとんどいなかったため、記者といえば当然男性を指すととらえられていたそうです。「記者（＝男性）以外は立ち入り禁止」と言われ、現場から退出させられそうになったこともあったようです。

【講師プロフィール】
初めての報道番組テレビ朝日系の「今、世界は」では主に“連帯”発足当時のポーランド、ソビエト連邦、フィリピンの米軍基地潜入ルポ、アメリカ日系一世の記録などの取材レポートを担当する。　続く「TVスクープ」でも、ロッキード裁判に揺れる越山会を始めとする国内取材、また、民放連賞を受賞した「写真の中のベトナム戦争」（昭和60年）では、レポーターを担当。昭和61年5月には、テレビ朝日系「ニュースステーション」のフィリピン報道で、ギャラクシー賞個人奨励賞を受賞。その後はフジテレビ報道と契約。1987年から連日のニュース番組の生放送でキャスターとして取材、放送を手掛けてきた。

●「過大評価」と「過小評価」

女性が社会で活躍するうえで陥る二つの落し穴には、周囲からの「過大評価」と女性自身の「過小評価」がある、と安藤さんは言われます。安藤さんは、戦場へ取材に行くことも多くあったそうですが、そこに集まる記者の多くは男性でした。なぜ女性なのに危ないところへ取材に行くのか、と言われる反面、女性が取材をしたというだけで評価されてしまうという「過大評価」を感じていたそうです。仮に男性記者が同じ努力で同じ取材をしたとしても、女性が行った取材の方が取り上げられる、といった具合です。

また、働く女性自身による「過小評価」とは、どこかで「自分には、そんなことはできない」といって自信を持てないことだ、と安藤さんは考えます。アメリカで、男性と女性のキャリアを比較した追跡調査によると、男性の方がより社会的な地位を向上させていく傾向にあるのに対して、女性はその傾向が低いという結果がでています。安藤さんは、当時アメリカ国務長官だったヒラリー・クリントンへのインタビューを通じて、最後に自分を信じて飛躍することの重要性を強く実感されたそうです。

＼参加者の声／

- 報道キャスターとしての安藤さんの講演は、過大評価・過小評価の落とし穴という点について理解できました。
- 人権について考えるということは、「バランスを保つこと」が大切だと思った。
- （安藤さんが報道の世界に入られた）38年前、もっと男性優遇を感じた時代かと思います。まだまだ男性社会の強い会社もあると思います。少しずつでもこのような講演会は貴重だなと思いました。若い人にもぜひ聞いてほしいと思います。

【講演の様子】
観客席からの質問に、一つ一つ真摯に答えていただきました。

男女共同参画に関することば
「女性活躍推進法」ってどんな法律？

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の略称で、平成27年8月に10年の時限立法で成立し、平成28年4月から施行されました。この法の目的は、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を目指しています。法に基づき、国・地方公共団体、労働者が301人以上の民間事業主は、女性の活躍に関する数値目標と取組を盛り込んだ行動計画を策定しなければなりません（労働者が300人以下の民間事業主は努力義務）。大企業や役所など、まずは大きな組織から率先して取り組みを公表していくことで、国全体に広がることを期待しています。

事業報告　男女共同参画週間・男女共同参画市民セミナー

「夢！自分！発見プログラム ―すきなものビンゴ＆お仕事マップ」

毎年6月23日から29日は「男女共同参画週間」です。今年度は平成28年6月25日（土）に、つきみ野学習センターにおいてセミナー「夢！自分！発見プログラム―すきなものビンゴ＆お仕事マップ」を開催しました。

このセミナーはNPO法人キーパーソン21のプログラムで、「男の子だからしなくてよい」、「女の子なんだから」といった固定的な考え方ではなく、子ども一人一人の個性に向き合って、親子（8組16名）で一緒にライフ・キャリアについて考えるきっかけとなりました。

事業報告　女性に対する暴力をなくす運動

「DV防止キャンペーン」

毎年11月12日から25日までは内閣府の定める「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。これに合わせて毎年大和市でもDV（ドメスティック・バイオレンス）防止のための啓発事業を実施しています。

平成28年11月17日（木）に、イオンモール大和鶴間店の1階ライトコートにてDV防止キャンペーンを実施しました。当日はDV防止に関する啓発物品の配布やパネルの展示、DVDの上映、バルーンアートのプレゼントを行い、多くの方にDV防止のための情報を届けることができました。

大和市幹部職員がイクボス宣言をしました！

「少子化対策」の一つとして、組織のリーダーである上司が部下職員の育児参加等への理解を深め、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）の支援と促進を積極的に図るとともに、その次勢を内外に示すため、市長をはじめ、部長級以上の幹部職員が、平成28年5月26日に「イクボス宣言」をしました。「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことで、男性幹部職員だけでなく、女性幹部職員もふくまれます。